

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014

多数ゲスト登場のオープニングセレモニーチケット販売開始 LiLiCo、斎藤 工によるトーク&ショートフィルム上映も 5月29日(木)渋谷ヒカリエホールA

今年で16回目の開催となる米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称: SSFF & ASIA)は、オープニングセレモニーを5月29日(木)、渋谷ヒカリエホールにて開催します。

今年は映画祭史上初の試みとして、より多くのお客様に映画祭を楽しんで頂くためにオープニングセレモニーのチケットを一般に向けて販売致します。(料金: 3500円)当日は、フェスティバルアンバサダーのLiLiCoさん、SSFF & ASIA代表の別所哲也により、今年の映画祭のラインナップ紹介やアワードやプロジェクトが発表されるほか、多彩なゲストが登場し映画祭開幕を彩ります。

また、セレモニー内にて特別にセレクトされた作品上映に加え、LiLiCoさんと俳優の斎藤工さんをゲストに迎えてのスペシャルトークイベントを実施。短い時間に込められたショートフィルムの魅力を存分に語って頂きます。

※SSFF & ASIA 2014は、世界110以上の国と地域から集まった約4,000本の作品の中から、選りすぐりの約200作品を一挙上映。今年度は上映プログラムを無料にしました。開催期間は、5月30日(金)~6月15日(日)まで、東京(2会場)・横浜(1会場)。グランプリほか各部門の優秀賞は、6月9日(月)にAiiA Theater Tokyoにて行われるアワードセレモニーにて発表されます。



斎藤工



フェスティバルアンバサダー: LiLiCo



SSFF & ASIA 2014 メインビジュアル

【SSFF & ASIA 2014 オープニングセレモニー概要】

- 日時: 5月29日(木) 開場16:00 開演16:30~19:00
- 会場: 渋谷ヒカリエホールA
- チケット料金: 3,500円(税込)
- チケット購入方法: オフィシャルサイトからお申込み頂けます
- SSFF & ASIA 2014 オフィシャルサイト <http://www.shortshorts.org>

＜メディアからのお問い合わせ＞
 広報事務局(共同ピーアール株式会社社内)
 中里・吉田・横山
 TEL: 03-3571-5238 FAX: 03-3571-5380
 E-mail: keisuke.nakazato@kyodo-pr.co.jp

＜一般の方からのお問い合わせ＞
 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
 TEL: 03-5474-8844 FAX: 03-5474-8202
 E-mail: press@shortshorts.org

各部門・特別プログラムの紹介

本映画祭は、グランプリ作品が米国アカデミー賞短編部門のノミネート選考対象作品となる「オフィシャルコンペティション」をはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、6つの部門とその他の特別プログラムで構成されています。

■各部門とアワードついて

オフィシャルコンペティション(米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象部門)

- ・インターナショナル部門
- ・アジア インターナショナル部門
- ・ジャパン部門

世界中から応募された4000本を超えるショートフィルムの中から、メッセージ性、エンターテインメント性の優れた選りすぐりの約100作品を上映。部門ごとに1作品を優秀賞として選定します。各部門で優秀賞を受賞した3作品の中から選出されるグランプリ作品は、第87回(2015年)の米国アカデミー賞短編部門ノミネート選考対象作品となります。

優秀賞賞金:60万円

※アジア インターナショナル部門、ジャパン部門の優秀賞には東京都知事賞が贈られます。

・CGアニメーション部門

今年度の米国アカデミー賞アニメーション部門で受賞を果たした『ミスター・ウブロ』ほか、世界各国から集まったハイクオリティなCGショートフィルムを上映します。

優秀賞賞金:60万円

・地球を救え！部門

地球環境に関する様々なテーマの作品を上映します。

優秀賞(環境大臣賞)賞金:60万円 J-WAVEアワード賞金:50万(J-WAVEのリスナー審査員によって決定する賞)

・ミュージックShort部門

ミュージックShort部門とはショートフィルムの視点でセレクトした公式ミュージックビデオと、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとにクリエイターから募集したオリジナルショートフィルムを上映する部門。

・観光映像大賞(観光庁長官賞)

各都道府県で制作されている観光プロモーション映像・ビデオで、“観光振興”という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ作品に贈られる賞。

■特別プログラムについて

・アカデミー賞プログラム

米国アカデミー賞公認映画祭が贈る、世界最高峰のアカデミー賞プログラム。

第86回(2014年)米国アカデミー賞受賞作品を含む、ショートフィルムの醍醐味が味わえるラインナップをお楽しみください。

・カンヌ映画祭プログラム

世界三大映画祭の一つであるカンヌ映画祭。長編のみならず、ショートフィルムのマーケットも併設されているなど、ショートフィルムにも重点を置く映画祭です。過去のパルムドール作品を含む珠玉のラインナップを揃えました。

・スイス特集

2014年、日本・スイスは国交成立150周年を迎えました。そんな記念すべき年に、スイスからバラエティに富んだ作品群をお届けします。スイスの社会事情、文化が垣間見れるラインナップを是非お楽しみください。

・フットボールプログラム

今年はブラジルにて開催される、4年に1度のフットボールの祭典。フットボールは世界共通言語。それを感じることができるショートフィルムを世界中から集め特別プログラムとしてご紹介します。

・韓国・アジアナ国際短編映画祭プログラム

「国民的俳優」と呼ばれる俳優アン・ソングが実行委員長を務め、2014年には12年目を迎えるASIFFより、2013年ナショナル(韓国)部門最優秀作品を含む、特別セレクションを上映します。

・台湾・高雄映画祭プログラム

台湾第二の都市・高雄で毎年行われる高雄映画祭(台湾)とのコラボレーションも4回目を迎え、今年も魅力的かつ力強い台湾発のショートフィルムをお届けします。

・フランス映画祭～短編作品集～

6月27日(金)から30(月)まで開催されるフランス映画祭「短編作品集」を本映画祭で上映。次世代を担う若手フランス人監督のアニメーション、ドラマ、コメディなどバラエティ溢れる作品が満載。

※その他の映画祭内のラインナップ、イベント、ゲスト来場情報は順次ご案内していきます。

★ ショートフィルムの魅力★

短いもので1分、長いものでも25分(当映画祭規定による)という短時間のなかにメッセージが凝縮されるショートフィルム。若きクリエイターの登竜門でもあり、世界的に活躍する監督たちから推奨されています。開催第1回目からジョージ・ルーカス監督の支援を受け、またマーティン・スコセッシ監督など世界的に活躍する有名監督から応援メッセージが届くなど、年々大きな映画祭へと成長を遂げてきました。ショートショートフィルムフェスティバル & アジア」でしかみることのない作品をお楽しみいただけます。

こんな作品が鑑賞できる！ショートショートフィルムフェスティバル & アジアのみどころ

【ジャパン部門特別上映作品】

能年玲奈 出演作品



『動物の狩り方』(Miyuki)

監督: 森 英人 / 日本 / 29:27 / フィクション / 2011

みゆきは昔父親に殺されそうになり、その事がトラウマになっていた。どこか父の面影ある菊池という山で暮らしている男と出会い、交流を深めていくが、あるきっかけから菊池の住んでいた小屋が無くなってしまふ。美由紀は菊池を捜して見つけるが…。

今年のカヌ国際映画祭のシネフォンダション部門で上映

桃井かおり主演、SSFF & ASIA 2012のグランプリ監督による新作ショートフィルム



『オー・ルーシー！』(Oh Lucy!)

監督: 平柳敦子 / 日本/シンガポール/アメリカ
21:48 / フィクション / 2014

55歳の独身OL節子が突然始めた英会話教室、そこには『ルーシー』というもう一人の自分が待っていた。『ルーシー』は抑圧されていた節子の欲望を解放する。

【フットボールプログラム上映作品】

フットボールから見えてくる世界の文化・政治・国際情勢を体験できる感動の作品。



『ジェロニモの約束』(Gerônimo's Promise)

Luiz Menegaz / ブラジル / 29:00 / フィクション / 2013

2014年、ブラジル、リオデジャネイロ。ブラジル対アルゼンチンのワールドカップ最終戦は、今まさに始まろうとしていた。親友のブルノとレアンドロは、急いでスタジアムに向かうのだが…。

【スイス特集】

2014年日本・スイスは国交150周年。そんな記念すべき年に、スイスからバラエティに富んだ作品群をお届けします。スイスの社会事情、文化が垣間見れるラインナップを是非お楽しみください。



『ローターの数奇な人生』(Luca)

監督: Zuberbühler / スイス / 13:00 / フィクション / 2013

ローターがくしゃみをするすると周りのモノが壊れてしまう。そのため人との関わりを一切避けてきた彼だったが、ある日、母の遺したトースターが壊れてしまい…

【著名俳優・女優出演のショートフィルム作品】※インターナショナル部門内で特別上映

★ベン・ウィショー出演作品

『007 スカイフォール』にて、ジェームズ・ボンドを支えるQ役に起用された。『パフューム』、『クラウド アトラス』などでも有名。



『鼓動』(Beat)

監督: Aneil Karia / イギリス / 11:32 / フィクション / 2013

静と動の境界線を行ったり来たりしながら、
絶望と幸福の狭間で揺れ動く一人の男の物語。

★エイミー・アダムス出演作品

『アメリカン・ハッスル』で第86回米国アカデミー賞主演女優賞ノミネート



『ペニー』(Pennies)

監督: Diana Valentine & Warner Loughlin / アメリカ / 30:00/フィクション / 2003

自分の子供のためにどこまで出来ますか？

【アカデミー賞プログラム】

第86回(2014)米国アカデミー賞短編実写部門受賞作品



『ヘリウム』(Helium)

監督: Anders Walter / デンマーク / 23:00 / フィクション / 2013

重い病を抱える少年アルフレッドは、変わり者の清掃員エンゾが語る「永い眠り」の世界、魔法の国ヘリウムへの冒険を日々楽しみにしていた。ある日容態が急変し隔離されてしまうアルフレッド。エンゾは無事彼を送り出すことができるのか。

【カンヌ映画祭プログラム】

5/14(水)～25(日)に期間開催されるカンヌ国際映画祭にちなんだプログラム。カンヌ国際映画祭2013 特別賞受賞



『クジラの谷』(Whale Valley)

監督: Gudmundur Arnar Gudmundsson

アイスランド・デンマーク / 15:00 / フィクション / 2013

フィヨルドに両親と暮らす二人の兄弟の心の繋がりを描いた作品。

【フランス映画祭プログラム】

フランス映画祭(6月27日～30日開催)の「短編作品集」が、今年は、本映画祭で上映することになりました。
次世代を担う若手フランス人監督のアニメーション、ドラマ、コメディなどバラエティ溢れる作品が満載！



『スキン』(Skin)

監督: Cédric Prévost / フランス / 13:04 / フィクション / 2013

最終列車が走り去り、誰もいなくなったパリのメトロ駅構内の通路で、向かい合う若い女と浮浪者風の男。一見何の関係も無いような二人。だが、二人を結ぶある出来事が徐々に明らかになる。

【開催概要】

■名称 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2014

■主催 ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会

■日程・会場

5月30日(金)～6月1日(日) 会場:表参道ヒルズ スペース オー

6月3日(火)～6月8日(日) 会場:ラフォーレミュージアム原宿

5月30日(金)～6月15日(日) (横浜開催) 会場:ブリリア ショートショート シアター

■オープニングセレモニーを除き、東京会場、横浜会場ともに無料上映となります。

※上映の参加はオフィシャルサイトから事前に登録が可能です。

※その他、映画祭内のラインナップ、イベント情報は順次ご案内していきます。

月日				会場		
				表参道	原宿	横浜
5月	30日	金	●		●	
	31日	土	●		●	
6月	1日	日	●		●	
	2日	月			●	
	3日	火		●	●	
	4日	水		●	●	
	5日	木		●	●	
	6日	金		●	●	
	7日	土		●	●	
	8日	日		●	●	
	9日	月			●	
	10日	火			●	
	11日	水			●	
	12日	木			●	
	13日	金			●	
	14日	土			●	
	15日	日			●	

※各会場での上映プログラムについては、映画祭オフィシャルサイトに随時アップ致します。

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

また、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成目的から同年に誕生した「ショートショート フィルムフェスティバル アジア(SSFF AISA 共催:東京都)」が誕生し、現在、この2つの映画祭が“SSFF & ASIA”として開催されています。上映内容は、オフィシャルコンペティションをはじめ、「音楽」「環境」「CGアニメーション」など、様々なカテゴリーのプログラムで構成されています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、ブリリア ショートショート シアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ28万人を動員。日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げるとともに、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭は応援していきます。



(写真、左から)

- ・1999年、アメリカ大使館にて行われたパーティーにて。SSFF & ASIA代表の別所哲也とジョージ・ルーカス監督
- ・2008年にオープンしたショートフィルム専門映画館ブリリア ショートショート シアター
- ・2013年、15周年を迎えた映画祭のアワードセレモニーにて